

自公政権退場の決定的な“審判”と新しい進路の選択を！〜総選挙に臨む日本共産党の立場〜
「ご近所のみなさん、日本共産党です。」

しばらくのご静聴とご協力を、よろしく申し上げます。
みなさん。

東京都議会議員選挙の結果は、自公政権への厳しい審判を示すものとなったのではないのでしょうか。日本共産党は、**自公政治に代わる『新しい政治の中身を探求する時代』**を、**みなさん**といっしょに、着実に、切り開いていきたいと思えます。

次は解散・総選挙です。政党を選ぶ比例代表選挙で、是非、日本共産党を大きく伸ばしてください。
みなさん。

都議会議員選挙に続いて行われる総選挙は、自公政権を終わらせる、決定的な**“審判”**の選挙です。「ハケン切り」・「非正規切り」など、「人間使い捨て」を横行させ、医療や年金・介護など社会保障の不安ばかりをふくらませ、大資産家と大企業へのゆきすぎた減税の一方で、**国民には耐えられないほどの負担を押しつける**——**こういう政治には、もう我慢ができません。**

米軍基地の強化に国民の税金を使ったり、自衛隊の海外派兵を推進して、憲法まで変えようという政治は、外交の力・話し合いの力でもめ事を解決する、新しい世界の流れには合いません。

日本共産党は、自公政権が進めた、こうした異常な財界・大企業中心の政治と、「軍事同盟絶対」の政治をキツパリと批判して、どんな問題でも、国民の利益にたつて頑張ってきました。

日本共産党を伸ばすことが、自民・民主の「大連立」などで、自公政治が息を吹き返すのを防ぐ、**最善の道・決定的な道**ではないでしょうか。

政党を選ぶ比例代表選挙では、是非、日本共産党を大きく伸ばしてください。よろしく申し上げます。
「ご近所のみなさん。」

総選挙では、自公政権を終わらせた後に、どのような新しい政治をつくるのか、二十一世紀の「日本の進路」が問われるのではないのでしょうか。

民主党中心の政権ができる可能性が大きいといっても、肝心の民主党が、「官僚支配の打破」を繰り返すばかりで、日本の、経済と外交の改革を、どのように進めるのかが見えてきません。その一方で、消費税増税や憲法九条の改定、衆議院比例定数の削減など、重要な問題で危険な方針を明らかにしているのは、見過ごすことができない事実ではないでしょうか。

日本共産党は、国民の切実な願いを実現することを第一にして、政治の舵取りを切り換えることを提案します。

その「進路」は、第一に、国民の生活と権利を守る「ルールある経済社会」を築く、そのために、異常な財界・大企業中心の政治を転換することです。

第二は、憲法九条を生かして、世界とアジアの平和に貢献する「自主・自立の平和外交」に転換する、そのために、異常な「軍事同盟絶対」の政治から抜け出すことです。

こうした、新しい日本への展望を示す日本共産党が伸びることこそ、「自公政治に代わる新しい政治の中身を探求する時代」を切り開いていく上で、一番の力になるのではないのでしょうか。

政党を選ぶ比例代表選挙では、是非、日本共産党を大きく伸ばしてください。よろしく申し上げます。
「ご近所のみなさん。」

日本共産党は、総選挙の結果、民主党中心の政権が成立した場合、国民の利益にたつて、建設的な野党として大奮闘しよう、今から決意をみなぎらせて頑張っているところです。

日本共産党は、建設的な野党として、国民のみなさんと力を合わせて、三つの仕事に取り組みます。第一は、一点で協力して、政治を前に動かす「推進者」の仕事です。労働者派遣法の抜本改正や後期高齢者医療制度の撤廃、農産物の価格保障と所得補償、核兵器廃絶のイニシアチブ、企業・団体献金の禁止などに、総力をあげます。

第二は、消費税増税や憲法改定、衆議院比例定数の削減など、危険な政策の具体化を許さないで、「防波堤」となって働くことです。

第三は、「国民が主人公」の立場に立った民主的な政権・民主連合政府をつくるための議論と取り組みを進める仕事です。どんな問題でも、一点での政党間協力を追求して、国民的な議論と運動・世論の力で政治を動かすのが、日本共産党のモットーです。

政党を選ぶ比例代表選挙では、日本共産党を大きく伸ばしてください。(小選挙区では、よろしく申し上げます。) ありがとうございます。

をよ